



豊かな収穫へ行進!!

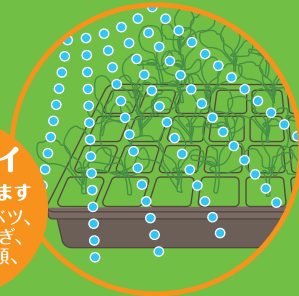
無人航空機
散布に対応

野菜用殺菌剤

パレード[®]20 フォアブル

適用
拡大

セルトレイ
灌注もできます
レタス、キャベツ、
はくさい、ねぎ、
はなやさい類、
なばな類



写真はイメージです

菌核病・灰色かび病など

幅広い病害に高い効果を発揮!!

適用作物への薬害リスクが極めて低い!

あずき／菌核病

ブロッコリー／黒すす病

レタス／菌核病

たまねぎ／灰色腐敗病

ねぎ／黒腐菌核病

いちご／灰色かび病

農林水産省登録第24071号

®は日本農薬(株)の登録商標

殺菌剤 パレード20フロアブル

有効成分：ピラジフルミド…20.0%
安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指すという通称）

パレード20フロアブルは新規有効成分「ピラジフルミド」を含有する野菜・畑作・花き用SDHI殺菌剤です。

■幅広い病害スペクトラムを有します

菌核病、うどんこ病、灰色かび病等、幅広い病害に対し高い効果を示します。

■効果持続性に優れます

降雨の影響を受けにくく、また葉内への浸透性を有し効果持続性に優れます。

■適用作物への葉害リスクが極めて低く使いやすい薬剤です

幅広い作物で栽培期間を通して使用できます。また多くの種類の作物で収穫前日まで使用できます。葉菜類、はなやさい類にはセルトレイ灌水処理もできます。

特長

適用病害虫および使用方法

が2025年7月に適用拡大になりました

2025年7月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラジフルミドを含む農薬の総使用回数	
豆類（種実、ただし、らっかせいを除く） 豆類（未成熟）	菌核病、灰色かび病、うどんこ病（だいず、さやえんどう）、 褐紋病（さやえんどう）	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	褐色輪紋病（だいず）、さび病（あずき、さやえんどう）	2000倍						
トマト	灰色かび病、葉かび病、うどんこ病、菌核病、斑点病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
ミニトマト	すすかび病	2000倍						
なす	灰色かび病、すすかび病、菌核病、うどんこ病、黒枯病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
ししとう	うどんこ病、黒枯病							
きゅうり	灰色かび病、菌核病、うどんこ病、褐斑病、つる枯病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
ズッキーニ、にがうり	うどんこ病							
うり類（成熟）*1	うどんこ病、つる枯病（すいか、メロン）、菌核病（すいか、メロン）	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	うどんこ病							
はくさい	黒斑病、白斑病、菌核病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	菌核病	16倍	1.6ℓ/10a					
		20倍	2.0ℓ/10a					
キャベツ	苗立枯病（リソクトニア菌）、菌核病	100倍	*	育苗期後半～定植当日	1回	灌水	3回以内 （灌水は1回以内）	
	菌核病、苗立枯病（リソクトニア菌）、根朽病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布		
	菌核病	16倍	1.6ℓ/10a					
はなやさい類*2	菌核病、黒すす病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
		16倍	1.6ℓ/10a					
		20倍	2.0ℓ/10a					
		32倍	3.2ℓ/10a					
なばな類	菌核病	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内（灌水は1回以内、散布は2回以内）	
	菌核病、すそ枯病、白絹病	100倍	*	育苗期後半～定植当日	1回	灌水		
レタス 非結球レタス	菌核病、灰色かび病、すそ枯病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	白絹病	2000倍						
	菌核病、灰色かび病	16倍	1.6ℓ/10a					
にんじん	黒葉枯病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病	2000倍						
	黒腐菌核病	20倍						1.6ℓ/10a
たまねぎ	黒腐菌核病	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病	20倍						1.6ℓ/10a
		25倍						2.0ℓ/10a
にんにく	黒腐菌核病	原液	種球重量の1%	植付前	1回	種球塗沫	3回以内（種球塗沫は1回以内、散布は2回以内）	
	葉枯病	2000倍		2回以内				
にら	白班葉枯病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	白絹病、褐色葉枯病	2000倍						
	黒腐菌核病	100倍	*					
ねぎ	黒腐菌核病	20倍～50倍	—	育苗期後半～定植当日	1回	灌水	3回以内 （灌水及び浸漬は合計1回以内）	
	黒斑病、葉枯病、小菌核腐敗病、小菌核病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布		
	さび病、黒腐菌核病、白絹病	2000倍						
		20倍	1.6ℓ/10a					
いちご	うどんこ病、灰色かび病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	うどんこ病、黒枯病、灰色かび病	2000倍						
		8倍	1.6ℓ/10a					
アスパラガス	茎枯病、斑点病、褐斑病	2000倍	100～700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
		10倍	1.0ℓ/10a					
		16倍	3.2ℓ/10a					
花き類・観葉植物（ばら、さく、りんどう、ゆり、トルコギキョウを除く）	うどんこ病	4000倍	100～300ℓ/10a	発病初期	3回以内	散布	3回以内	
	黒星病	2000～4000倍						
	白さび病	4000倍						
ばら	うどんこ病	4000倍	100～300ℓ/10a	発病初期	3回以内	散布	3回以内	
	褐斑病	2000倍						
さく	葉枯病	2000倍	100～300ℓ/10a	発病初期	3回以内	散布	3回以内	
	黒斑病、花腐菌核病	4000倍						
ゆり	黒斑病、花腐菌核病	2000倍	100～300ℓ/10a	発病初期	3回以内	散布	3回以内	
	褐斑病、葉枯病	4000倍						
りんどう	うどんこ病	4000倍	100～300ℓ/10a	発病初期	3回以内	散布	3回以内	
	斑点病	2000～4000倍						
トルコギキョウ	うどんこ病	4000倍	100～300ℓ/10a	発病初期	3回以内	散布	3回以内	
	斑点病	2000～4000倍						

注意事項

- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- みずかけな（水掛架）、カラー及び花はすに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- 灌水を使用する場合には、次の注意事項を守ってください。
 - ①調製液をセル成型育苗トレイ又はペーパーポット上方から全体に行き渡るように灌水してください。また、薬剤の効果を十分に発現させるために、処理直前や直後の灌水はさけてください。
 - ②キャベツ又ははくさいの苗立枯病に使用する場合、リソクトニア菌による苗立枯病には有効ですが他の病原菌による苗立枯病には効果が劣るので、リソクトニア菌以外による苗立枯病の混発が予想される場合には他の有効な薬剤と組み合わせて使用してください。
 - ③キャベツの根朽病に使用する場合、育苗期間中の感染が主であるため、育苗期間を主体に使用することが望ましいです。
- ④レタスのすそ枯病に使用する場合、灌水処理での効果は生育初中期が主体であるため、その後の発生が予想される場合には他の有効な薬剤と組み合わせて使用してください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
 - ①散布は散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ②散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④散布薬液の飛散によって自動車やカート等の塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ⑤散布終了後は次の項目を守ってください。
 - a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
 - b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- にんにくの種球に塗沫する場合には、次の注意事項を守ってください。
 - ①使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
 - ②薬剤が種球に均一に付着するよう処理した後、乾燥させてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましく、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするにとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かざれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。